

平成27年度 第1回 湖東中学校 学校評議員会

日時：平成27年6月20日（土）

14：30～16：00

場所：湖東中学校 校長室

1. 自己紹介
2. 学校経営方針（校長）
3. 本校生徒の実態について
4. 情報交換

【門脇さん】

- ・様々なデータが出ているが、なぜ、そうなっているのか根拠を明確にすること。
- ・全般的に2年生のデータが下がっているが、昔からその傾向は見られた。  
(スポーツで考えると1,2,3年とV字型になっていく。)
- ・目標が定まらない時期もあり、何をすべきか目標を定めることが必要である。

【景山さん】

- ・現3年生が、「2年生の時と『顔が違う』」と言われたが、その要因は何か？  
→校長：生徒の表情が違う。学級の雰囲気が良い。教員との関係もよい。  
(教員、生徒とも) 目指すものの共有ができています。  
教員の問題意識を共有化し、どういう方向に向かうのかを明確化
- ・良い面ばかりではなく、問題意識を持ってほしい。

【門脇さん】

- ・自社の新入社員をみても「おとなしい」「自己主張しない」
- ・自分も小学生のバスケットに関わってきたが、最近、保護者のモチベーションが変わってきた。3～4年前から変化してきた。
- ・「自分の子をどうして試合で使ってくれないのか？」という保護者もいれば、「チームで頑張ろう」という保護者もいる。そして、子どもは保護者に影響される。

【邨上さん】

- ・よいことを見つけて褒めていくことが大切。
- ・頑張っているところを褒めると高揚感が高まる
- ・朝、校門で挨拶に立っているが、特定の生徒の遅刻が目立つ。
- ・教室に「聴き方上手」の図が貼ってある。「聴く」ことを大切にしている。

【音田さん】

- ・データを取る時期の決定は？
- ・データの結果は全般的に上昇している。課題を確認できたのでは。
- ・全校及び学年別で、昨年〇月と今年の〇月で顕著な変化がある項目にポイントを定めて検証してみてもいい？
- ・「夢や目標を持っているか」に関して、生徒会とタイアップして、生徒同士が認め合えるような、高めあえるような場面の設定、生徒の自治力の醸成が必要。
- ・今が、学習、掃除に対して、生徒が目標を立てて頑張ることができる良い時期だろう。

【長谷川さん】

- ・組織的な対応がなされている
- ・一人の教員が、教科指導、生徒指導、カウンセリング・・・オールマイティにできない。一人の教員の責任となるとしんどい。
- ・そのためにも関係機関との連携、保護者との協働が必要。
- ・良い状態の時とはかく、「トラブルが起こらない方向」にもっていこうとするが、「トラブルはあって当然」という考え方が必要。
- ・グループで話し合いなどの時に「発言できない子」がいるが、それも認めてやることも必要。

【邨上さん】

- ・湖山地区の運動会に、湖山小卒業の中1の生徒たちが、参加。自然に湖山音頭の輪に入り一緒に踊っていた。とてもよかった。

【校長】

- ・世の中に役に立つ人材を育てるのが使命。そのために学校は発信し続ける。
- ・生徒がポジティブになるためには、教職員がまず、ポジティブになること、その姿を生徒にみせること。

【その他】

- ・掃除が行き届いている→多くの生徒は健全な学校生活を送っている証拠である